

アンケート調査

回 答 編

実施日 令和4年1月12日～令和4年1月19日
 対象家庭 63 家庭
 回収結果 39 家庭 62%

No	質 問	はい	どちらとも いえない	いい え
1	お子様は、楽しく保育園に通っていますか	98%	2%	0%
2	お子様は、クラスの友達や保育園の生活に馴染めていますか	96%	4%	0%
3	お子様は、保育士に親しみや信頼を感じているようですか	96%	4%	0%
4	お子様の気持ちや様子、子育てなどについて職員と話したり、相談する事が出来ますか	90%	8%	2%
5	お子様の園での様子や健康状態を、きちんと伝えられていると思いますか	88%	10%	2%
6	職員は、礼儀正しく丁寧に対応していますか	94%	6%	0%
7	保育中の発熱など病気への対応は適切ですか	94%	6%	0%
8	お子様の発育や意欲を促すような活動、遊び等が行われていると感じますか	98%	2%	0%
9	園生活の様子はホームページ、組だより、玄関ボードなどでも伝えられていると感じますか	94%	6%	0%
10	給食は、旭川市の献立を参考に提供していますが、お子様は、給食を美味しく食べていると思いますか	100%	0%	0%
11	感染症等の衛生管理については、良いと思われませんか	86%	14%	0%
12	安全管理については適切ですか	94%	6%	0%

○園全体として100点満点中、当園は何点だと思いますか

回答平均 96 点

アンケートのご協力を頂きましてありがとうございました。
 ご感想に書いて頂いた「些細な事でもその日の様子を伝えてくれる」「心配なことを相談できる」「笑顔」「明るい」「丁寧な対応」「話しやすい」「こどもが楽しく通えている」という事柄は、保護者の皆さんが共通して望まれている事と思います。どなたにも安心してお子さんを預けて頂ける様、アンケートを生かした保育、運営を、これからも行っていきたくと思います。

お子さんの事でお聞きになりたい事や心配されている事があれば遠慮なく声を掛けて下さい。どうぞよろしくお願ひします。

A=良い B=一部検討を要する C=改善を要する

No	質 問	A	B	C
1	お子様は、楽しく保育園に通っていますか	<input type="radio"/>		
2	お子様は、クラスの友達や保育園の生活に馴染めていますか	<input type="radio"/>		
3	お子様は、保育士に親しみや信頼を感じているようですか	<input type="radio"/>		
4	お子様の気持ちや様子、子育てなどについて職員と話したり、相談する事が出来ますか	<input type="radio"/>		
5	お子様の園での様子や健康状態を、きちんと伝えられていると思いますか		<input type="radio"/>	
6	職員は、礼儀正しく丁寧に対応していますか	<input type="radio"/>		
7	保育中の発熱など病気への対応は適切ですか	<input type="radio"/>		
8	お子様の発育や意欲を促すような活動、遊び等が行われていると感じますか	<input type="radio"/>		
9	園生活の様子はホームページ、組だより、玄関ボードなどでも伝えられていると感じますか	<input type="radio"/>		
10	給食は、旭川市の献立を参考に提供していますが、お子様は、給食を美味しく食べていると思いますか	<input type="radio"/>		
11	感染症等の衛生管理については、良いと思われませんか		<input type="radio"/>	
12	安全管理については適切ですか	<input type="radio"/>		

令和3年度 職員自己評価

自己の評価は、日頃保育に関わっている者として自分の保育を確認し、気づき問い直すきっかけを作るものと考えており、評価の判断基準は自分です。自分の保育を客観的に見て改善し、職員みんなで共通の意識を持つ様にしており、以下の項目を自身で評価しました。

評価方法は、A、十分理解している（十分出来ている）B、理解している（出来ている）C、努力が必要な3段階です。

内	容
◎ 子どもの発達	
①	保育指針に基づく子どもの発達過程のおおむね8つの区分を理解し、一人一人の発達に合わせ援助していくことの重要性を理解している。
②	発達過程に「おおむね」がつくことで、個人の発達には幅があり、前後の年齢に繋がりをもって成長している事を理解している。
③	家庭環境の差、身体能力の差、精神的成長の差から生じる、子ども一人一人の違いを理解している。
④	一人一人とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いている。
⑤	自分を表現する力が十分でない子供の気持ちを汲み取るようにしている。
⑥	禁止語を不必要に用いないようにしている。
⑦	登園時に泣く子に対して、子どもの状況に応じて優しく声を掛けたり、抱きしめたりしている。
⑧	日々の生活の中で、子どもが安心感と自己肯定感を持てるような言葉がけをしている。
⑨	子どもの心身の癒しがなされるように配慮されている。
◎ 保育の内容	
①	一人一人の健康状態や発達について把握し、異常に気付く事が出来る。
②	個人と集団で行う活動の違いを熟知し、子ども達が人間関係を築ける機会を作っている。
③	個性、特性を十分に理解すると共に子ども達が自ら発言できる機会を作っている。
④	相手の言葉に耳を傾け、意見を尊重出来るよう子ども達に指導が出来る。
⑤	人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切に作る気持ちを養う保育が出来る。
⑥	大きな自然、小さな自然、あるいは街中の様子などから、まず保育士自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしている。
⑦	子どもの知的要求の変化に気づき、探求心、知的好奇心を満たしたり、引き出したりするような会話や配慮をしている。
⑧	保育士自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するよう心掛け、人の話を聞く態度を身に付けさせることが出来る。
⑨	子どもが、自分の話を十分聞いてもらった、伝わったという楽しさや満足感が持てるように配慮している。
⑩	基本的な生活習慣に基づいた挨拶など、日常生活に必要な言葉を丁寧に使う事が出来る。
⑪	子ども達の興味や関心に沿った絵本や物語を用意出来る。
⑫	探求心を満足させ、観察力を育てる保育の環境設定に配慮している。
⑬	日々の保育の中で、感動や発見が出来るよう、変化に富む保育内容に配慮している。
◎ 保育の計画及び評価	
①	目標は、前年度の反省を生かしている。
②	目標は、全員で検討し、かつ共通理解を図っている。
③	保育過程に基づいた具体的な指導計画を作成出来る。
④	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意した物を作成できる。
⑤	保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならない事を理解している。(計画・実施・評価・改善)
◎ 健康及び安全	
①	子どもの感染症やその他の疾病についての知識を持ち、必要な援助が出来る。
②	基本的なアレルギーの種類（食物・接触・薬）や特性について理解している。
③	無理なく好き嫌いをなくす援助が出来る。
④	食べることの意味や命について考える機会を作っている。(人の命、動物の命、植物の命)
⑤	食事のマナーを子供や保護者に伝えられる。
◎ 保護者に対する支援	
①	日々、信頼を得られる行動をしている。
②	保護者の思いを受け止め、様々な思いの相談・依頼に適切に対応している。
③	保護者の話を落ち着いて聞き、状況、問題点を把握できる。
④	手紙、公文書などの基本的な書き方を知り、誤字、脱字の無い内容が正確に伝わる文章が書ける。
⑤	早番や遅番で保護者からの伝達事項がある時は、メモを取り、確実に担任に伝えている。

⑥	職員会議等で各クラスの状況報告を聞き、担任ではなくても各クラスの様子を把握している。
⑦	保護者、入所児童、又職場に関する秘密は絶対に他言しない。
◎ 職員の資質向上	
①	保護者、乗客に対して季節・時間に合わせた好感の持てる挨拶が出来る。
②	正しい言葉使いが出来る。
③	電話が鳴ったら早く出るようにしている。
④	電話の要件は間違えないようメモに残し、確認や伝達を行っている。
⑤	周囲の人や乗客に清潔感を与える応対や身だしなみを実践している。
⑥	いつも笑顔で対応できる。
⑦	子どもの発達段階を意識し、活動的で子どもが心地よく感じる服装を心掛けている。
⑧	髪が顔にかかったり、爪が伸びたり等、不衛生にならないよう日頃から心掛けている。
⑨	睡眠を十分にとり、勤務に支障をきたさない規則正しい生活を送っている。
⑩	体調異常の時は、速やかに通院している。
⑪	日常生活で、保育士としての度を超す言動をとらない。
⑫	ハラスメントや虐待など保育士にあるまじきことをしない。
⑬	保育園及び職員の不満を他言しない。
⑭	勤務開始時間の10分以上前に出勤している。
⑮	指導計画をもとに、日々の乳幼児の状況に沿った保育をしている。
⑯	毎朝行事予定表・日案に目を通し確認、記憶している。
⑰	自ら進んで勤務を完全遂行する、積極的な姿勢がある。
⑱	担当勤務以外でも自ら気づき、声を掛けあい協力している。
⑲	会議などで積極的に発言出来る。
⑳	「みんながやっているから」「以前からの慣例だから」という思いにとらわれない。
㉑	自分だけの不都合かどうか、客観的に見る事が出来る。
㉒	人間としての資質を磨く様に努力する意欲がある。
㉓	保育士としての基本である研修に取り組む意欲を持っている。
㉔	苦手な分野の情報や研修を知ろうとする意欲がある。
㉕	保育行政や他施設の保育内容に関心がある。
㉖	保育に関する情報誌、専門書またはインターネットなどの外部情報を取り入れてる。
㉗	研修報告などで気づいた事を自分の業務に反映出来る。
㉘	他人の意見に耳を傾け「聴く」という事が出来る。
㉙	相手がどのような思いで意見を発し、行動を取ったか考える事が出来る。
㉚	保護者の様々な職業を理解し、相手の立場に立った考え方が出来る。
㉛	長時間保育の保護者にねぎらいの言葉をかけている。

☆ 評価結果

◎ 「子どもの発達」「保育の内容」

概ねA評価 十分理解している（充分出来ている）につけている保育士が多くいました。子ども達に寄り添い思いを聞きながら気持ちを受けとめる。子ども達の得意な事や良さを引き出していく事で自信に繋げ、自分自身を認められるよう導く。そのうえで物事の良し悪しを伝え、本人が納得出来るような伝え方を重視する。この事を保育士一人一人が考えながら保育を行っていますが、子ども達の成長や個性を一人一人考えた適切な方法に難しさを感じています。基本的な生活習慣の自立指導では、身に付くまでの「継続」「意欲的に取り組む気持ち」に力を入れていました。

◎ 「保育の計画及び評価」

概ねA評価の中で②の項目にBを付けている保育士がおり、複数担任の連携の大切さが表れています。保育の内容に関して、特に行事では前年度の反省を生かした上で子ども達がより楽しめるよう変化を付けたり、保育士の個性を生かした保育の提供が行われていました。

◎ 「健康及び安全」

③は、昨年に引き続き1、2歳児担任が試行錯誤の中で進めている事柄として取り上げ、時間をかけて進められています。

◎ 「保護者に対する支援」

②、③に関して、発信してくれる保護者への対応に限らず、発信出来ずにいる保護者がいる事も考慮しなければならぬと思われまます。⑤、⑦は、全員がAに付けていました。

◎ 「職員の資質向上」

経験年数が上がるにつれて、自身の行動や園児、保護者、同僚に対しての配慮が出来ていくようです。全体に資質を高めるための確認事項となりました。

<p>☆ 上記の評価を踏まえ、自分自身が心掛けていることや今後の課題について。(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手遊びや絵本の読み聞かせなど声色を変えたりしながら子供たちの興味を引き出したり、一つ一つの保育に意欲を持って取り組めるような声掛けを行っている。 ・気持ちを穏やかに保ち、笑顔で優しく接する。 ・子ども達が興味を持てるように共に楽しんだり行動している。 ・トラブルがあった際には相手の気持ちを考えられるように話したり、解決していくようにしている。 ・子ども一人一人に向き合い、気持ちを受け止めようとし、同じ目線で会話するようにしている。 ・言葉だけでは伝えられない年齢の子ども達に、触れ合うことで安心できる雰囲気を作ったり、言葉がうまく出ない子へ代弁するなどの配慮をしている。又、いつもと表情が違うなどの小さな変化に特に意識している。 ・優しく、良く褒め、分かりやすくを心掛けている。 ・子ども達が自分の事は自分で出来るように必要最低限の手助けをし、子どもたち自身のやる気を引き出そうとする。 ・責任を持った行動（自分から気付く、自分から行動する、誤りは自ら正し改める、計画性を持つ） ・子どもの成長や環境、時代の状況に合わせて日々情報を新しく取り入れたり、自己の成長が出来るよう日々学習していく。 ・クラスに関係なく、色々な子と信頼関係を築けるように沢山関わっていく。 ・周りに目を向け、それぞれの仕事が滞りなく進んでいるのかを気に掛け、声掛けや手助けなどをしていきたい。
--